

実施日：7月14日（3校時）	
領 域：特別活動	
取組名：自分の好きなものを伝えよう	
対 象：1年生	実施場所：教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなものを言ったり、友だちの好きなものを認めたりして、温かな人間関係を形成しようとする態度を養う。 性別に関わらず、自分の好きなものを表現しても良いこと、友だちの好きなものをそのまま受け入れることの大切さやすばらしさに気付くことで、個性を表現でき、互いを認め合う態度を身に付けさせる。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな色、好きな服、好きなキャラクターについて発表する。 ワークシート（人の形の絵）に、自分の好きな服とキャラクターのシールを貼ったり、髪の毛やランドセルに好きな色を塗ったりする。 理由を言いながら、自分の好きなものを話し合う。 教員の経験談を聞き、好きなものを言って笑われたり、変だと言われたりしたときの気持ちを考える。また、どんな声かけをすれば良いのかについて考えさせ、生活に生かせるようにする。 	
ウ 連携先： 家庭、地域、一宮北中学校、Like myself	
<p>エ 連携にむけての取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段の生活や遊びの中で、子どもたちに気を配り、互いを認め合う言動ができるように温かく見守ってもらうことを、懇談会やPTAの会合などで呼びかけた。 Like myselfの方と連絡を取り、授業内容について検討し合い、授業参観のあと授業における性に関する考え方について、意見を交流した。 	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> 終わりの会で、友だちの「素敵どころ見つけ」を発表する機会を設け、お互いの良さを認め合う喜びを味わわせている。 各教科・各領域を通して、伝え合う活動を取り入れた授業実践を行うことを小中全教職員で意思統一している。ペア学習やグループ活動を活用し、相手の考えや意見を受け止めてから自分の考えを伝えるように指導している。相手意識をもたせた上で、伝えたいことをまとめさせ、コミュニケーション能力を育てている。 	
<p>カ 評価の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の発言 ワークシート、感想 	
<p>キ 成果</p> <p>事前アンケート（聞き取り）で児童の実態を把握していたことと、作業が素早くできるようにシールに加工をしていたため、子どもたちが考えたり交流したりする時間が十分に確保できたことがよかった。「男の子、女の子で決めつけるのはよくない」と考えが変容した児童がいたことは、授業の成果だと思う。</p>	
<p>ク 課題</p> <p>今回の授業だけで、全員の考えが変容することはない。普段の生活の中の児童の様子を観察し、「男の子だから」「女の子だから」という言動があれば、学習したことを想起させ、一人ひとりが好きなものを言っていていいという考えをもつように指導を重ねることが課題である。</p>	